

## 先催県のお野立所の事例

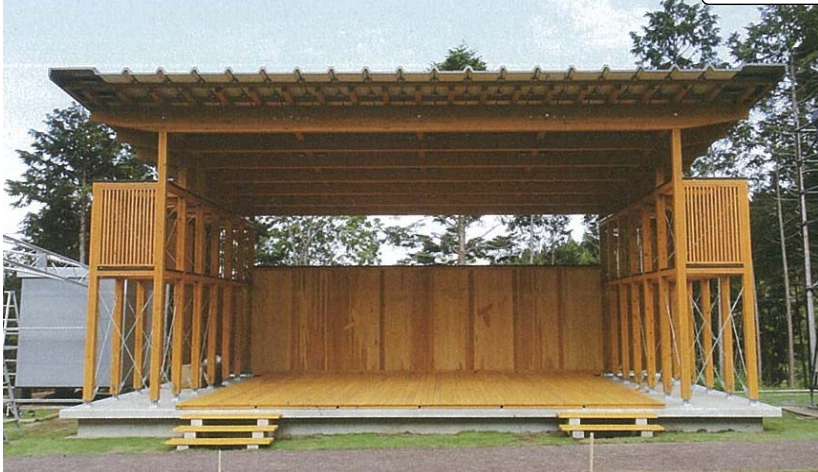
### 第61回・神奈川県

#### 秦野会場



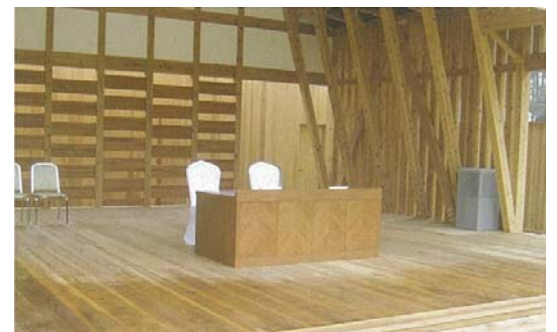
水無川を中心とした都市公園としてのおおらかな環境を意識し、この地域のシンボルともなっている風の吊り橋からヒントを得て、風にはらんだ帆や浮遊するパラグライダーをイメージしたアーチ形状の屋根を採用しました。

#### 南足柄会場



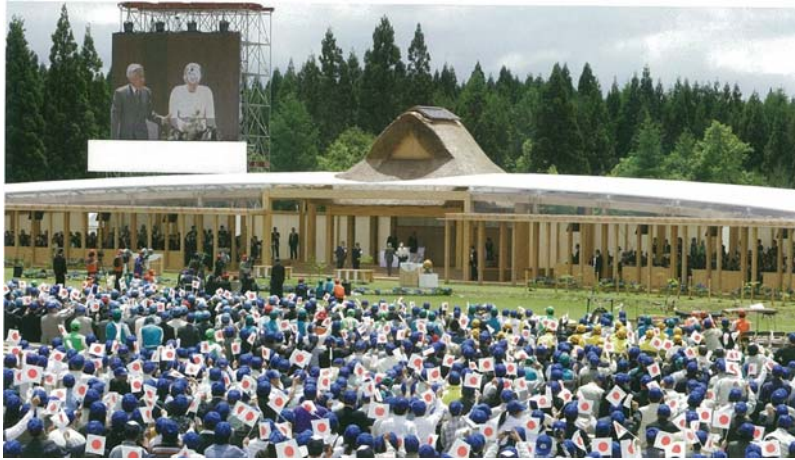
うっそうとしたスギ林や上総川のせせらぎ、田んぼや集落などが残る会場周辺の風景は、昔ながらののどかな里山を思わせます。この様な原風景に寄り添うような山小屋をイメージした勾配屋根を採用しました。

### 第60回・福井県



福井県産の間伐材を活用するとともに、福井豪雨災害の改修工事のため伐採された足羽川の桜の木を活用しました。

## 第59回・秋田県



会場は、世界的に有名な建築家の安藤忠雄さんがデザインしたものです。  
中心には秋田の伝統的な民家建築に見られる中門造りのお野立所を、その両翼には「秋田スギの回廊」を設置することで、秋田らしさをアピールし、会場の一体感を生み出すつくりとしました。

## 第58回・北海道



「環境の世紀」といわれる21世紀にふさわしい植樹祭を目指して、会場内に、北海道の森林を育てる中で生まれた木材を積極的に活用しました。  
お野立所は、第12回全国植樹祭で植栽したアカエゾマツの間伐木を集成材にして利用しました。